

平成19年度 広島国道事務所事業概要

1. 平成19年度事業費

広島国道事務所においては、活力ある広島都市圏の再構築と地域社会の連携と再生を支える道づくりを進めていきます。

費目	H19年度当初事業費 実施計画額(百万円)	H18年度当初事業費 実施計画額(百万円)	伸び率 (H19/H18)
道路事業費	29,724	29,169	1.02

百万円未満の端数は四捨五入しています。

2. 平成19年度事業概要(トピックス)

広島都市圏の経済活力を支えるみちづくりを進めます

一般国道375号 東広島・呉道路 (部分開通)

上三永～馬木間が開通 P 2

一般国道2号 東広島バイパス (事業推進)

瀬野南～中野東地区の工事推進 P 3

一般国道2号 安芸バイパス (事業推進)

一般国道2号 広島南道路 (事業推進)

宇品～光南地区の工事推進 P 4

一般国道2号 西条バイパス (事業推進)

一般国道2号 西広島バイパス (事業推進)

廿日市高架橋の工事推進 P 5

一般国道54号 可部バイパス (事業推進)

H19年度より広島国道事務所事業推進を図ります。

一般国道185号 安芸津バイパス (事業推進)

三津～木谷地区の工事推進 P 6

安全で安心できる暮らしを目指した道づくりを進めます

交通安全対策の推進

一般国道2号 湯坂温泉入口交差点改良 新規着手 P 7

一般国道2号 仁保二丁目自転車歩行者道整備 新規着手 P 8

大規模地震に対する震災対策の推進

『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』の対策の実施 P 9

道路ストックの適切な管理

管内道路施設の老朽化対策の推進 P 10

災害に強いみちづくりの推進

広島南共同溝出島地区 共同溝事業の推進 P 11

環境改善を目指した道づくりを進めます

沿道環境の改善

一般国道2号 西広島バイパス 古江地区遮音壁設置 P 12

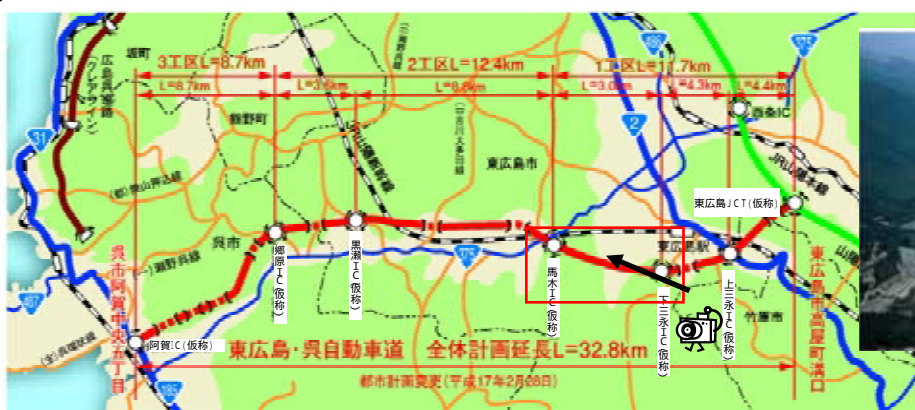
一般国道375号 東広島・呉道路

東広島・呉道路で初めて！ 上三永～馬木間が開通

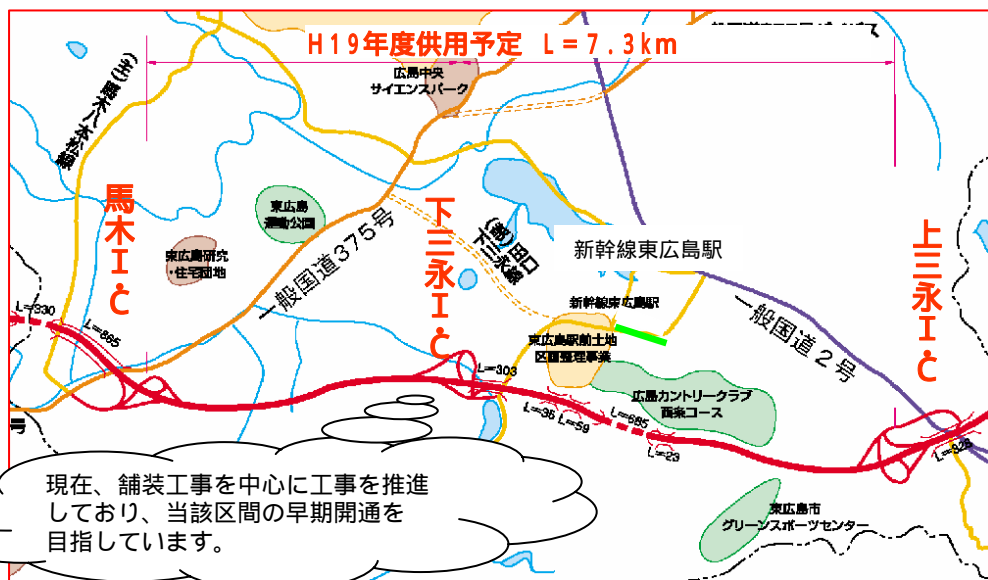
東広島・呉道路は、呉市から山陽自動車道へのアクセス強化を図ることを目的として計画された、延長32.8kmの一般国道の自動車専用道路です。

平成5年度に事業着手し、用地買収を推進するとともに東広島JCTから馬木IC間、及び郷原ICから阿賀IC間の工事を推進しているところです。

平成19年度は、馬木ICから郷原IC間の工事に着手するとともに、上三永ICから馬木ICを開通する予定としています。



さいじょう
下三永IC付近西条側
から馬木ICを望む

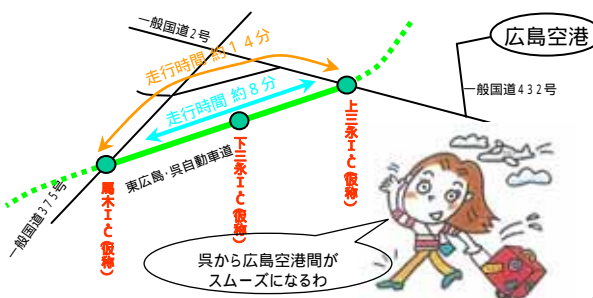


東広島・呉道路のJCT及びIC名はすべて仮称

期待される整備効果

近くなる 呉市～広島空港が6分短縮

呉市～広島空港は、これまでの一般国道375号利用から、今回、一部供用する東広島・呉自動車道を利用することにより、走行時間短縮、安全性が向上します。



一般国道2号 東広島バイパス

瀬野南～中野東地区の工事推進

東広島バイパスは、国道2号の交通渋滞の解消や安全性・利便性の向上、広島市と東広島市との連携強化や地域経済の活性化など、広島都市圏のさらなる発展に欠かせない道路網として計画された延長9.6kmのバイパスです。

平成17年度末（平成18年3月）には中野IC～海田東ICまでの2.7km区間を開通しています。

平成19年度は引き続き、用地買収の促進、安芸区瀬野南～中野東地区の改良工事、橋梁工事を推進するなど、東広島バイパス区間の早期開通に向け事業を推進します。



(仮)中野東IC付近(中野東地区)



(仮)瀬野西IC付近(瀬野南地区)

期待される整備効果

渋滞緩和及び時間短縮

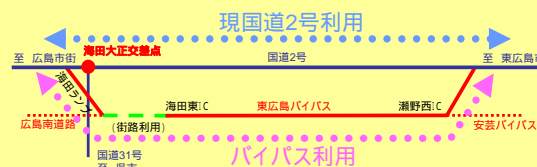
- バイパス区間の利用により、広島市役所から東広島市役所間の所要時間が約15分短縮します。（現国道2号を利用した場合と比較）

周辺地域との連携強化

- 広島市、東広島市の都市をより強く結びつけ、各種開発計画の促進に貢献します。

交通安全・定時性の向上

- 大型車などの通過交通や都市間交通がバイパスに転換するため、道路横断時等の危険性が減少します。



一般国道2号 広島南道路 ひろしまみなみ

宇品 ~ 光南地区の工事推進 うしな こうなん

広島南道路は、道路交通の円滑化、都市機能の向上を図ること等を目的に計画された、地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を構成する道路です。

一般道路部（直轄施工）の整備については、広島高速3号線と一体的に機能するために必要な区間から、優先的に整備することとしています。

平成19年度は、宇品地区の歩道整備工事及び光南地区の橋梁下部工事を推進するとともに、元安川の橋梁上部工事に着手します。



期待される整備効果

渋滞緩和及び時間短縮

・広島都市圏の慢性的な交通混雑の緩和を図ります。

地域間の連携強化

・広島デルタ南部の臨海部と周辺諸都市を直結することで地域間の交流が促進され、地域経済・産業・文化の発展が期待されます。

一般国道2号 にしひろしま 西広島バイパス

はつかいち 廿日市高架橋の工事推進

廿日市高架橋は、一般国道2号西広島バイパスの主要渋滞ポイントである速谷、宮内交差点及び上平良交差点をまたぐ延長2.2km（高架橋1.4km）の高架橋建設事業です。

平成15年度に工事着手し、平成18年度までに本線部の橋台1基（全2基）、橋脚29基（全29基）が完成、また、高架橋から廿日市インターチェンジへアクセスするランプ橋の下部工事等および、起点部分から高架橋上部工に着手したところです。

平成19年度は引き続き、高架橋上部工の推進を行うとともに、廿日市インターチェンジへ接続するためランプ橋下部工事を行います。

廿日市高架橋工事現況



高架橋完成イメージ



期待される整備効果

渋滞緩和及び時間短縮

現在の国道2号平面部の通過時間と比較して、高架橋区間を利用することにより約7分短縮します。

沿道環境の改善

交通の円滑化が図られ、低騒音舗装の実施などにより沿道環境の改善が期待されます。

一般国道185号 安芸津バイパス

三津～木谷地区のトンネル工事等を推進

安芸津バイパスは、国道185号東広島市安芸津町内の課題を解消するために計画された延長6.1kmのバイパスです。バイパス整備により、榊山交差点周辺の渋滞が緩和されるとともに安全性・利便性の向上が図られます。

平成19年度は、接続道路である（市）上条浜田線の工事と調整を図りながら、三津地区と木谷地区を結ぶ実近トンネル工事及び三津大川橋工事等に着手し、工事を推進します。

構造物名称は仮称



あきつしもみなが
県道安芸津下三永線から竹原方面を望む

【安芸津バイパス 東広島市安芸津町三津～木谷間】



三津地区工事状況(H19.2撮影)
県道安芸津下三永線より東を望む

期待される整備効果

三津地区から木谷地区間の整備による効果
(市道上条浜田線と一体的に機能することによる整備効果)

バイパス利用で所要時間が1分短縮します。
大型車の通行困難な区間を解消します。
大雨による浸水区域の迂回が可能となります。



交通安全対策の推進

一般国道2号 ゆ さか おん せん いり ぐち 湯坂温泉入口交差点改良 新規着手

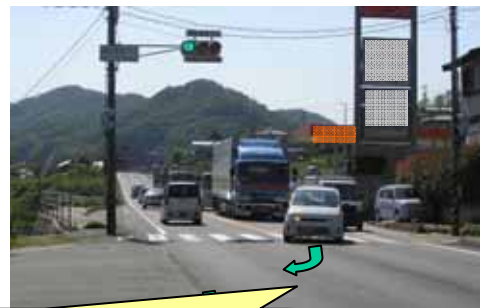
一般国道2号は、大阪市を起点とし広島市を經由して北九州市に至る、近畿から九州までを結ぶ主要幹線道路です。

該当箇所は湯坂温泉郷への入口となる交差点ですが、事故率が広島県の平均死傷事故率の5倍以上ある、非常に危険な箇所です。現在右折車線が設置されていないため、右折車が存在した場合、後続車の通行を阻害し追突事故が発生しています。

(過去4年間に起きた交差点周辺の事故28件のうち、追突事故が26件発生)

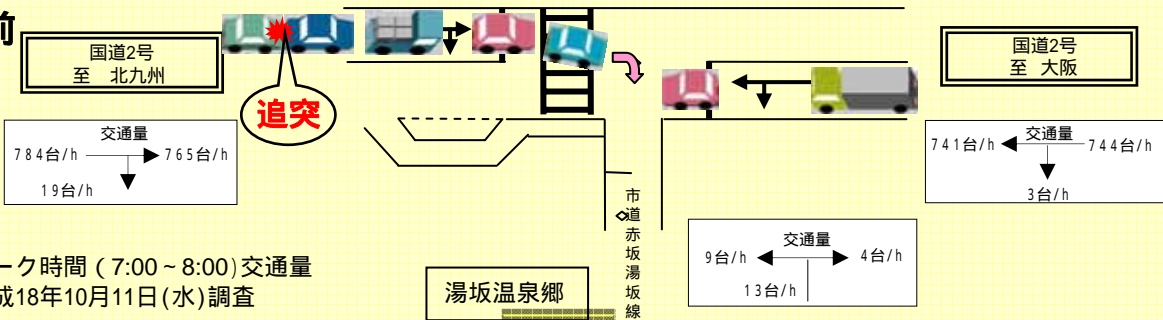
このため、当該箇所に右折レーンを設置し、後続車を円滑に通行させることにより追突事故の防止を図ります。

平成19年度に新規に事業着手し、用地取得を行います。

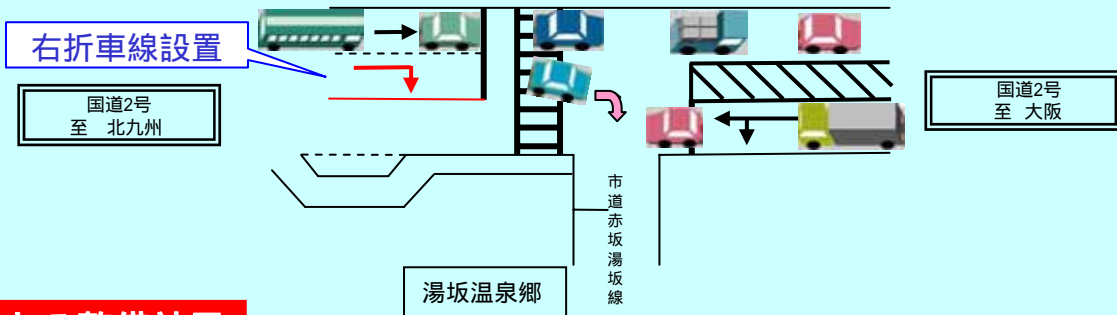


右折車両が停車すると後続車の通行を阻害し追突事故が発生する

整備前



整備後



期待される整備効果

交通事故の軽減
右折車線を設置し、直進車と右折車を分離させることにより、交差点付近の追突事故防止を図ります。

交通安全対策の推進

一般国道2号 ^{にほ} 仁保二丁目自転車歩行者道整備 新規着手

一般国道2号は、大阪市を起点とし広島市を經由して北九州市に至る、近畿から九州までを結ぶ主要幹線道路です。

当該区間は市街地にあり、地元住民が生活道路として利用している道路です。現在の自転車歩行者道はランプ部で途切れており、先の自転車歩行者道とつながっていません。交通量の多いランプの路肩を通行しなければならず、非常に危険な状態です。

このため、当該区間に自転車歩行者道を整備し、安全で安心して通行できる通行空間を確保します。

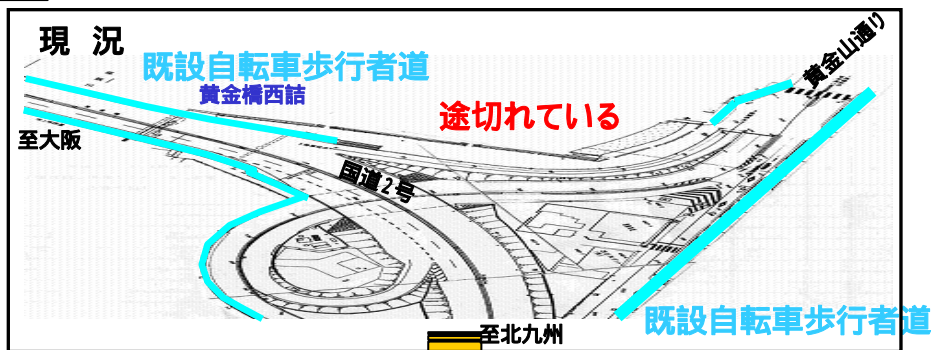
平成19年度より新規に事業着手し、工事を実施します。



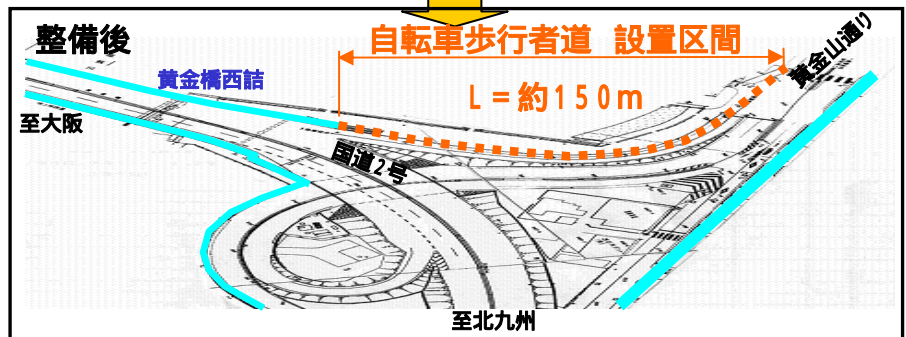
自転車歩行者道の設置区間



自転車歩行者道が途切れている



期待される整備効果



- 安全な通行空間の確保
- ・自転車歩行者道を設置し、車と歩行者・自転車を分離することにより、交通事故の危険性が少なくなります。
 - ・前後の自転車歩行者道とつながり、ネットワークが形成されます。

大規模地震に対する震災対策の推進

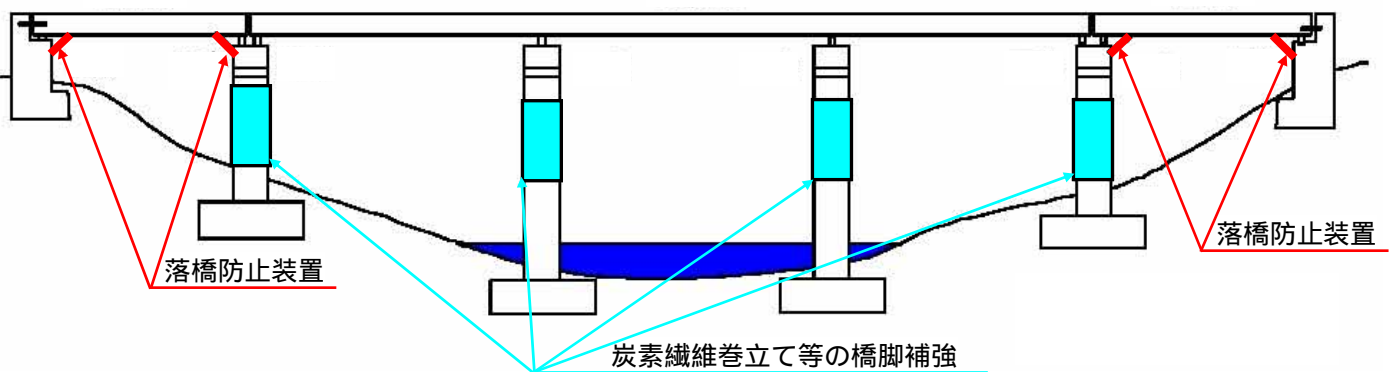
『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』の対策の実施

緊急輸送道路は、大規模地震時における救助・救援活動や緊急物資輸送のために極めて重要な役割を担っており、大規模地震時に緊急輸送道路がその機能を発揮するためには、橋梁の倒壊や落橋を防止するための耐震補強を行っておく必要があります。

このため、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強については、古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋梁について、平成17年度より重点的に整備を推進しています。

平成19年度は、国道2号『御鷹野橋』、国道2号『新明治橋』等の橋梁につきまして耐震補強工事を実施し、広島国道管内の対象橋梁については概ね完了することとなります。

耐震補強イメージ図



【平成18年度の整備状況】

『国道2号 平野橋』において耐震補強（炭素繊維巻立て）を実施しました。

この他に『国道2号 美鈴橋(下)』において落橋防止装置設置、『国道54号 祇園大橋』において耐震補強（コンクリート巻立て工）等の工事が完了しました。



道路ストックの適切な管理

管内道路施設の老朽化対策の推進

管内の橋梁・トンネル・道路照明等の道路施設は、古いものでは50年以上経過しているものもあり、橋梁ではコンクリート床版の剥離、橋脚などのひび割れ、トンネルでは漏水・ひび割れなどの損傷が確認されています。

このため、点検等により把握した損傷の程度に応じて、速やかに補修の必要な橋梁・トンネルについて、構造物の延命化を図るための補修対策を推進しています。

平成19年度は、国道2号『唐船浜橋』、国道185号『仁方トンネル』等の補修工事を実施し、安全で安心な道路の管理に努めます。

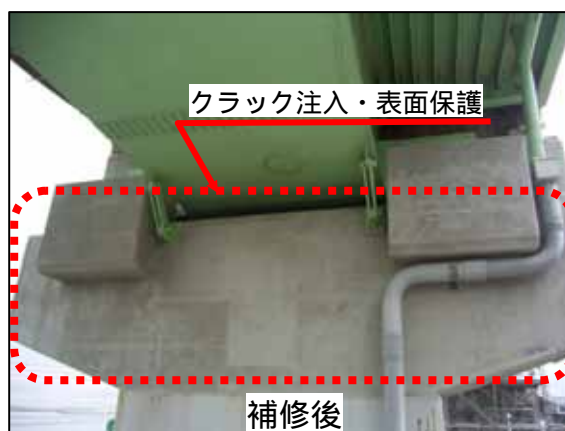
【平成18年度の整備状況】

『国道2号 地御前跨道橋』において、クラック注入、表面保護等（橋梁補修）を実施しました。

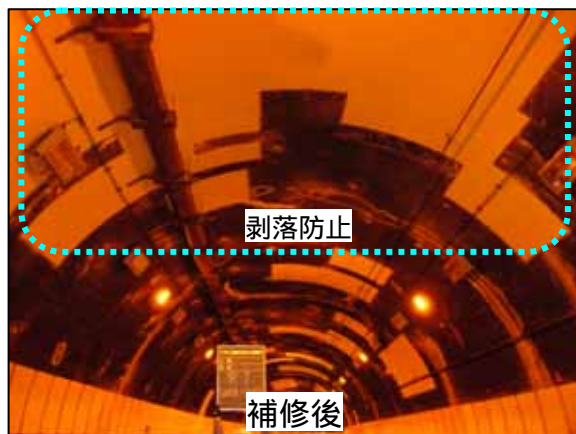
『国道185号 仁方第2トンネル』において、剥落防止、クラック注入、空隙充填（トンネル補修）を実施しました。

この他に『国道2号 第1砂渡橋』において床版打換・下部工補修等（橋梁補修）、『国道2号 五日市高架橋』においてクラック注入・断面修復・表面保護（橋梁補修）等の工事が完了しました。

国道2号 地御前跨道橋の補修



国道185号 仁方第2トンネルの補修



災害に強いみちづくりの推進

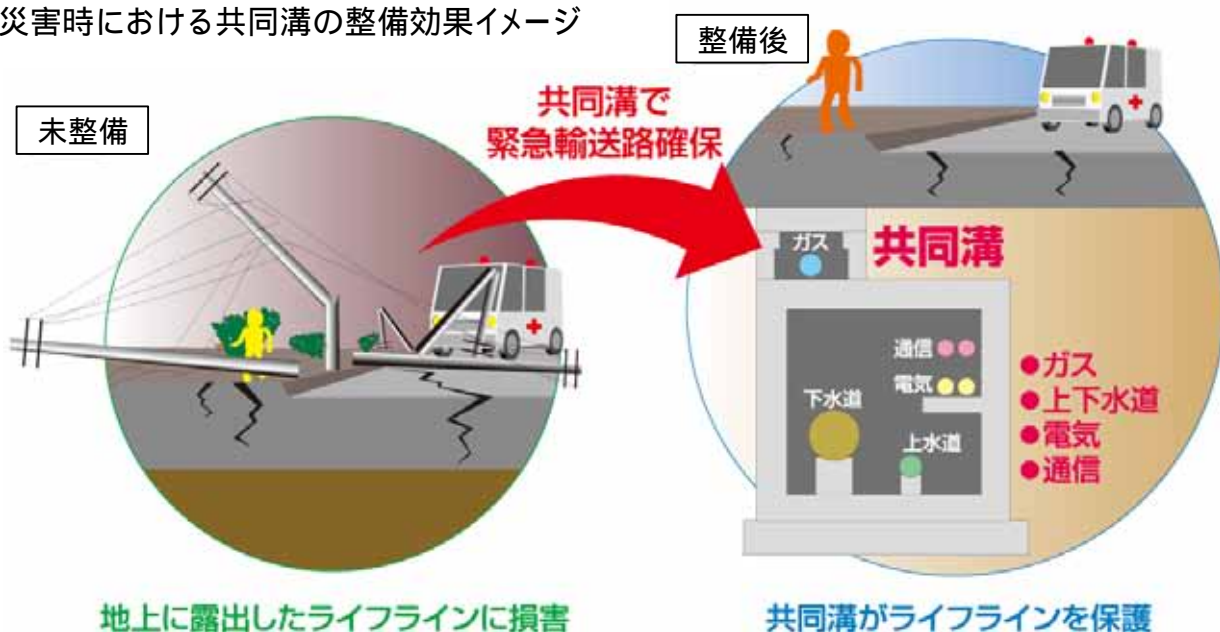
広島南共同溝出島地区 共同溝事業の推進

広島国道事務所では、平成18年度より広島市南区出島地区の共同溝事業に着手し、引き続き平成19年度においても共同溝事業を推進します。

共同溝事業は、道路の地下にコンクリートの箱をつくり、電気・電話・上下水道・ガス等の公益施設を収容するもので、道路の掘り返し工事を防ぎ、都市生活に不可欠なライフラインの安全性、信頼性の向上を図るものです。

広島南共同溝では、上水道の本管や電力のメインケーブルを収容する「幹線共同溝」と、沿線の需要家に供給するための上・下水道や電力、電話線を収容する「供給管共同溝」を整備します。

災害時における共同溝の整備効果イメージ



位置図



供給管共同溝整備済み箇所(広島市南区宇品地区)

沿道環境の改善

一般国道2号西広島バイパス 古江地区遮音壁設置

広島国道事務所管内の騒音の現状は、夜間要請限度（70 dB）を越える区間が約5割であり、沿道騒音の改善を早急に行う必要がある状況です。沿道環境対策については、今後も関係機関との連携を図りつつ総合的・計画的に沿道環境改善に向けた道路構造対策等を進め、道路交通による騒音等の改善に努めます。

平成19年度においては一般国道2号西広島バイパス古江地区において遮音壁の整備を進めるとともに、夜間要請限度を超える地区等において、低騒音舗装の整備を進めていきます。



古江地区の状況



平成15年1月



平成17年12月

